

2018年12月期 第2四半期 決算説明会

2018年8月7日
JUKI株式会社
代表取締役社長 清原 晃

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 2018年12月期(2018年度)上期 業績の概要

- | | |
|---------------|----|
| 1. 業績推移・配当 | 3 |
| 2. 経常利益増減要因 | 4 |
| 3. 主要財務項目推移 | 5 |
| 4. セグメント別業績推移 | 6 |
| 5. 通期業績予想 | 10 |

第2部 中期経営計画(2018-2020)の取り組みと下期重点施策

- | | |
|------------------|----|
| 1. 中期経営計画の取り組み | 12 |
| 2. 2018年度下期 重点施策 | 17 |
| 3. 80周年活動について | 27 |

第1部
2018年12月期(2018年度)上期
業績の概要

売上高は、ソリューション営業を推進するとともに、アジア市場を中心としたミドルマーケットにおける顧客基盤の構築も進んできたが、一部生産遅延の影響もあり、前年比10.0%の増収。

利益面は、売上増の一方で、ミドルマーケットの市場攻略費用や開発費用の増加に加え、人民元高ドル安の影響などにより、営業利益は前年比若干増加。また、ドル安により為替評価損が拡大したことなどから、前年比、経常利益は△11.5%の減益。

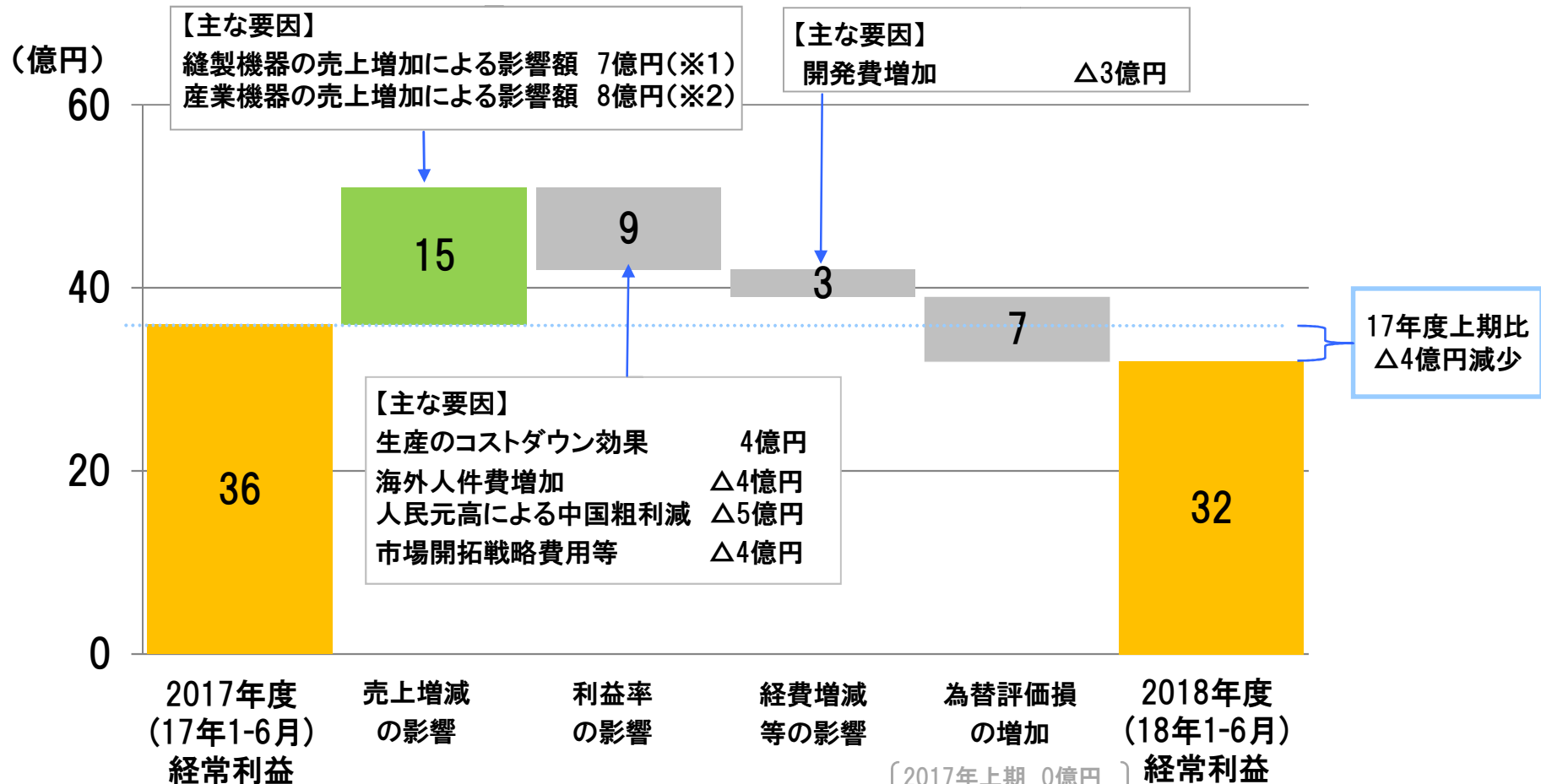
(百万円)

	17/12期 (17年度)			18/12期 (18年度)			前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	上期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	1Q	2Q	上期	
	17年1-3月	17年4-6月	17年1-6月	18年1-3月	18年4-6月	18年1-6月	
売上高	23,717	24,672	48,389	25,650	27,585	53,235	4,845 (10.0%)
営業利益	2,138 [9.0%]	1,480 [6.0%]	3,618 [7.5%]	1,242 [4.8%]	2,408 [8.7%]	3,650 [6.9%]	31 (0.9%)
経常利益	2,241 [9.4%]	1,348 [5.5%]	3,589 [7.4%]	946 [3.7%]	2,232 [8.1%]	3,178 [6.0%]	△411 (△11.5%)
当期純利益	1,527 [6.4%]	877 [3.6%]	2,404 [5.0%]	468 [1.8%]	1,474 [5.3%]	1,942 [3.6%]	△461 (△19.2%)
為替 レート	ドル 114円	ユーロ 111円	113円	109円	109円	109円	△4円
	121円	124円	122円	133円	129円	131円	9円
	2017年度 年間配当実績: 35円/株 (うち記念配当10円/株)			2018年度 年間配当予想: 25円/株			

* 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

* []は売上高利益率

売上は増加したものの、ミドルマーケットの市場攻略費用や開発費用の増加、人民元高ドル安により、営業利益は若干増加。また、ドル安や新興国通貨安基調で推移したことなどにより、経常利益は前年比△4億円の減益。



※1 中国でのハイエンド商品、新興国ミドルマーケットでの売上増等
 ※2 新商品、ソリューション営業による売上増等

1-3

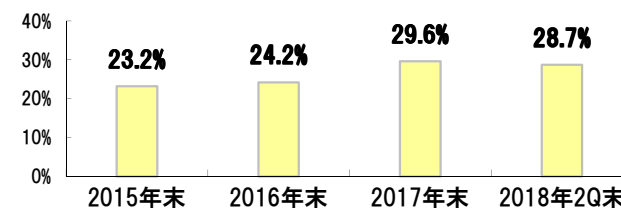
主要財務項目推移

- 自己資本比率は28.7%と△0.9%減少。(円高により前期比為替換算調整勘定のマイナスが増加)
- 有利子負債は、現預金控除ベースで444億円とほぼ横ばい。

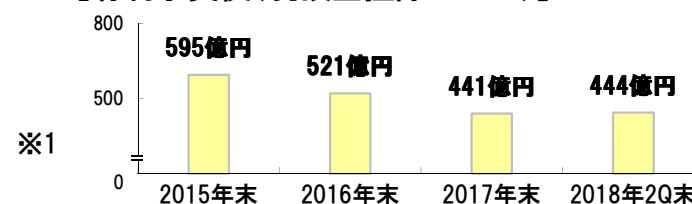
(百万円)

	17/12期末 (17年12月末) 〈A〉	18/12期 2Q末 (18年6月末) 〈B〉	増減額 〈B-A〉	
総資産	110,554	113,919	3,364	
純資産 [為替換算調整勘定]	33,343 [△1,966]	33,284 [△2,771]	△59 [△804]	
純資産比率	30.2%	29.2%	△1.0%	
自己資本比率	29.6%	28.7%	△0.9%	
売上債権 [売上債権回転期間]	32,398 [3.8ヵ月]	31,781 [3.6ヵ月]	△617 [△0.2ヵ月]	
在庫 [在庫回転期間]	36,652 [4.2ヵ月]	39,853 [4.5ヵ月]	3,200 [0.3ヵ月]	
仕入債務 [仕入債務回転期間]	14,049 [1.6ヵ月]	15,574 [1.8ヵ月]	1,524 [0.2ヵ月]	
有利子負債	50,551	51,363	812	
現預金	6,407	6,983	576	
為替レート (期末)	ドル	113円	111円	△2円

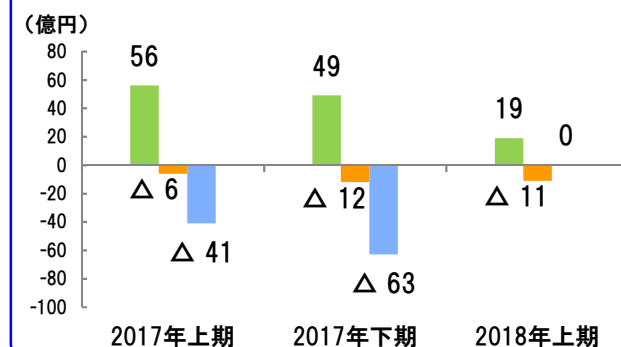
【自己資本比率】(※1)



【有利子負債(現預金控除ベース)】(※2)



【キャッシュ・フロー】 営業CF 投資CF 財務CF



縫製機器&システムは、中国などのハイエンド分野での売り上げは堅調に推移し、ミドルマーケットでの売上も前年比増加するも、競争要因もあり、前年比6.8%の増収。

産業機器&システムは、産業装置では中国をはじめとして設備投資需要が旺盛ななか、新型マウンタや省力化装置の売上が増加、グループ事業では受託加工等の顧客開拓が進むも、一部生産遅延の影響もあり、前年比17.0%の増収。

(百万円)

	17/12期 (17年度)			18/12期 (18年度)			前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	上期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	1Q	2Q	上期	
	17年1-3月	17年4-6月	17年1-6月	18年1-3月	18年4-6月	18年1-6月	
縫製機器&システム	15,989	16,573	32,562	17,065	17,704	34,769	2,207 (6.8%)
産業機器&システム	7,644	8,015	15,659	8,505	9,818	18,323	2,663 (17.0%)
その他	82	84	166	78	64	142	△24
合計	23,717	24,672	48,389	25,650	27,585	53,235	4,845 (10.0%)
グループ 事業	2,495	2,723	5,218	2,645	2,638	5,283	65 (1.2%)

1-4-2

セグメント別業績 経常利益推移

縫製機器&システムは、売上増の効果はあるものの、ミドルマーケットでの市場攻略費用を投下したことや、人民元高ドル安の影響(△5億円)などから、前年比△28.0%の減益。

産業機器&システムは、産業装置の売上増加や新製品の販売増による利益率の改善もあり、前年比59.4%の増益。

(百万円)

	17/12期 (17年度)			18/12期 (18年度)			前年同期比 増減額 (B-A) (増減率)
	上期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	1Q	2Q	上期	
	17年1-3月	17年4-6月	17年1-6月	18年1-3月	18年4-6月	18年1-6月	
縫製機器&システム	1,815 [11.4%]	1,048 [6.3%]	2,863 [8.8%]	553 [3.2%]	1,509 [8.5%]	2,062 [5.9%]	△801 (△28.0%)
産業機器&システム	593 [7.8%]	536 [6.7%]	1,129 [7.2%]	825 [9.7%]	976 [9.9%]	1,801 [9.8%]	671 (59.4%)
その他	10 [12.2%]	10 [11.9%]	20 [12.0%]	11 [14.1%]	20 [31.3%]	31 [21.8%]	10
調整額	△177	△247	△424	△443	△273	△716	△292
合計	2,241 [9.4%]	1,348 [5.5%]	3,589 [7.4%]	946 [3.7%]	2,232 [8.1%]	3,178 [6.0%]	△411 (△11.5%)

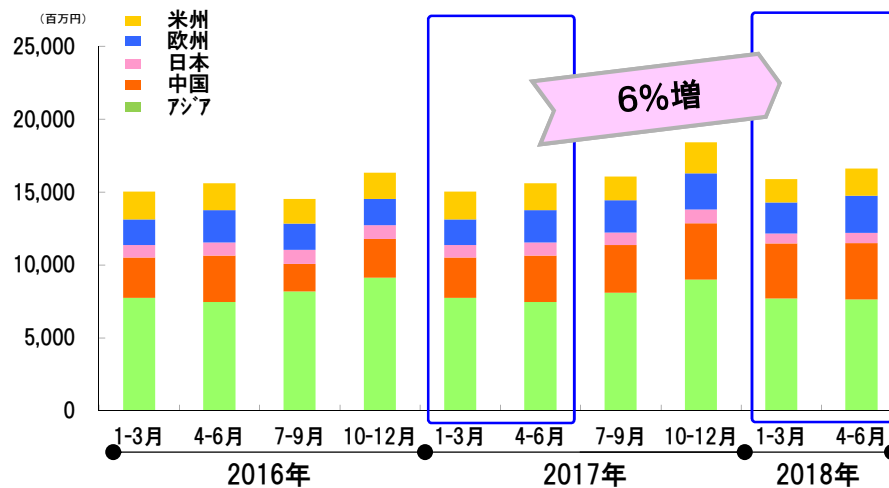
(参考①)

セグメント別業績 縫製機器&システム(売上前年比6.8%増)

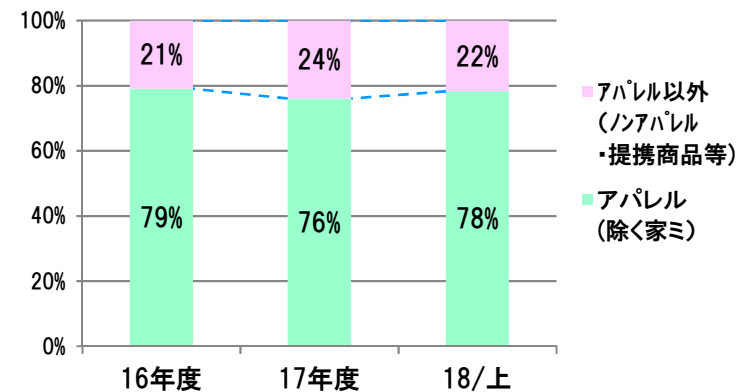


工業用マシンは、中国でアパレルを中心に前年比29%の増収。

【工業用マシンの地域別売上高推移】(月次集計ベース)



【アパレル・アパレル以外の売上高比率推移】(除く家庭用マシン)



【売上高:前年同期比較】

	2018年(1-6月)		増減額	(増減率)
	2017年(1-6月)	2018年(1-6月)		
アジア	152	153	1	
中国	59	76	17	(+29%)
日本	18	14	△4	
欧州	40	47	7	
米州	38	35	△3	
合計	306	325	19	(+6%)

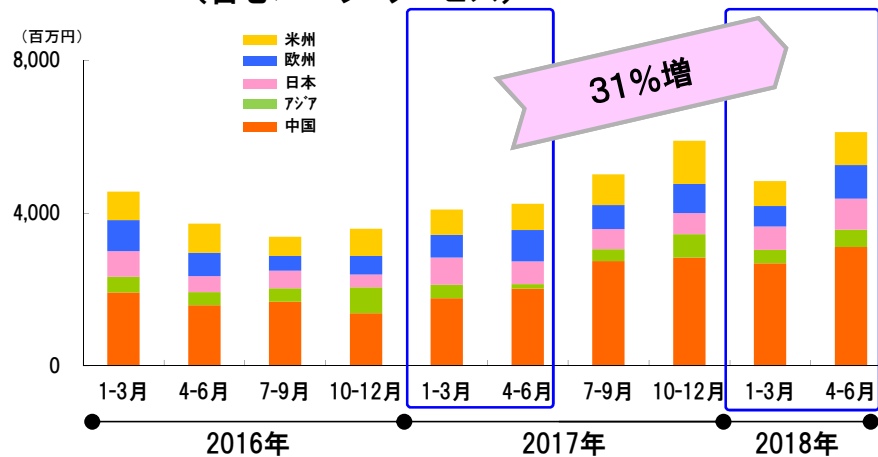
(参考②)

セグメント別業績 産業機器&システム(売上前年比17.0%増)

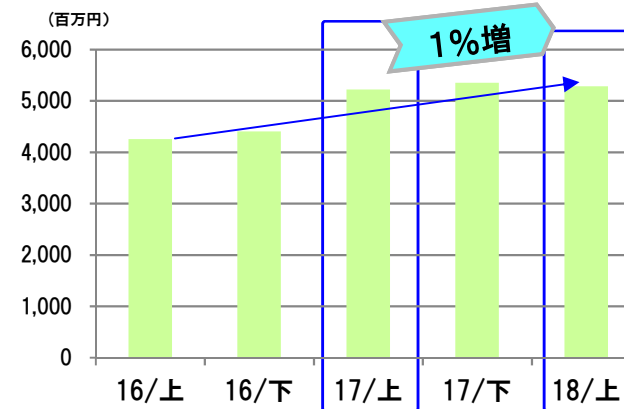
産業装置は、中国で旺盛な設備投資需要を背景に前年比53%の増収。

グループ事業、パーツ事業も着実に売上を伸長。

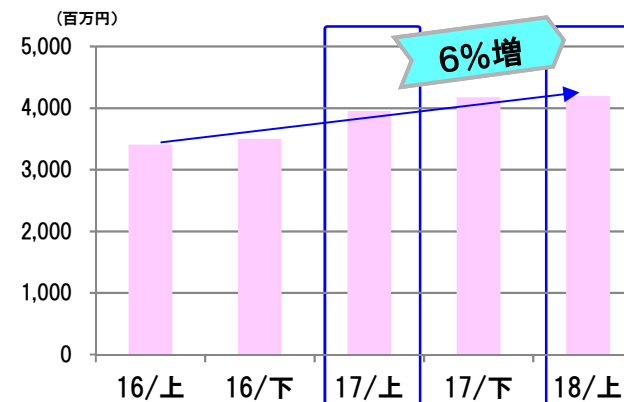
1. 【産業装置の地域別売上高推移】(月次集計ベース) (含むパーツ・サービス)



2. 【グループ事業の売上推移】



3. 【パーツ事業の売上推移】



【売上高:前年同期比較】

	2017年 (1-6月)	2018年 (1-6月)	増減額	(増減率)
中国	38	58	20	(+53%)
アジア	5	8	3	
日本	13	14	1	
欧州	14	14	0	
米州	13	15	2	
合計	83	109	26	(+31%)

1-5

2018年度の通期業績予想

				(億円)		【参考】 (億円)
	2018年度 上期(1-6月)	2018年度 上期(1-6月)	差異<B-A> (差異率)	2018年度 通期(1-12月)	2017年度 通期(1-12月)	
	予想<A>	実績		予想	実績	
売上高	510	532	22 (4.4%)	1,040	1,037	
(縫製機器&システム)	(一)	(348)	(一)	(690)	(691)	
(産業機器&システム)	(一)	(183)	(一)	(350)	(343)	
営業利益	25	37	12 (46.0%)	55	82	
経常利益	22	32	10 (44.5%)	50	78	
当期純利益	14	19	5 (38.7%)	35	56	
				配 当	通期:35円/株 (うち記念配当10円/株)	
為替レート	1ドル=107円	1ドル=109円		1ドル=105円	1ドル=112円	

※ 平成30年12月期通期の業績予想につきましては、米中貿易摩擦などにより当面の為替動向や新興国での事業環境が不透明であることから、前公表値(2月9日)から変更しておりません。今後、事業環境など当社の業績に与える影響を勘案した上で、予想値について精査してまいります。

第2部

中期経営計画(2018-2020)の取り組みと 2018年度下期の重点施策

経済環境

- 世界経済は、昨年同様安定的な成長維持を期待
 - 但し貿易摩擦リスク、地政学的リスクには注意が必要
- 電子部品・工作機械業界の設備投資需要は堅調
 - 情報通信(IoT)分野の技術革新、労働人口不足

顧客ニーズ

- 技術革新(「もの」から「こと」へ)の動きが加速
 - AI、ロボット、クラウド 等への関心拡大
- スマートカンパニー・ファクトリーへ積極投資
 - デジタル化、システム化、自動化ソリューションの導入

企業への要請

- 経営体制の合理化
 - コーポレートガバナンス体制の強化、グローバルな対応体制
- 利益重視の経営
 - 毎年の増収増益、配当の安定化、自己資本の拡充

2-1-2

中期経営計画の取り組み 進捗状況

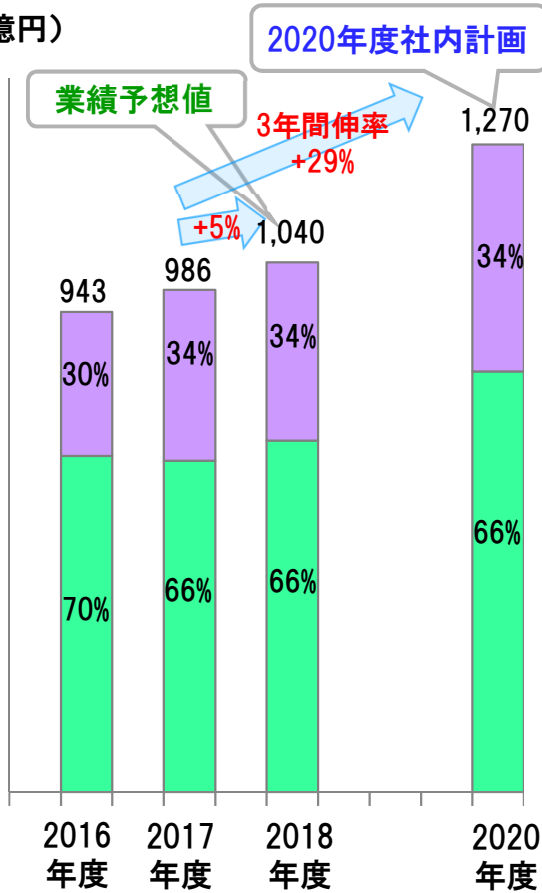


【売上高】

(目標: 年間 9%増収)

2018年度 予想値 1,040億円

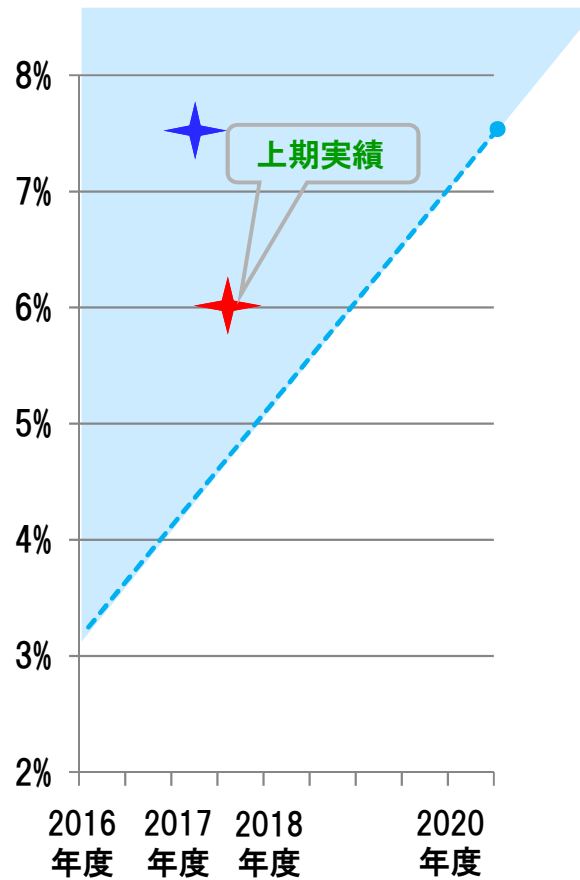
(億円)



【経常利益率】

(目標: 2020年度 7.6%以上)

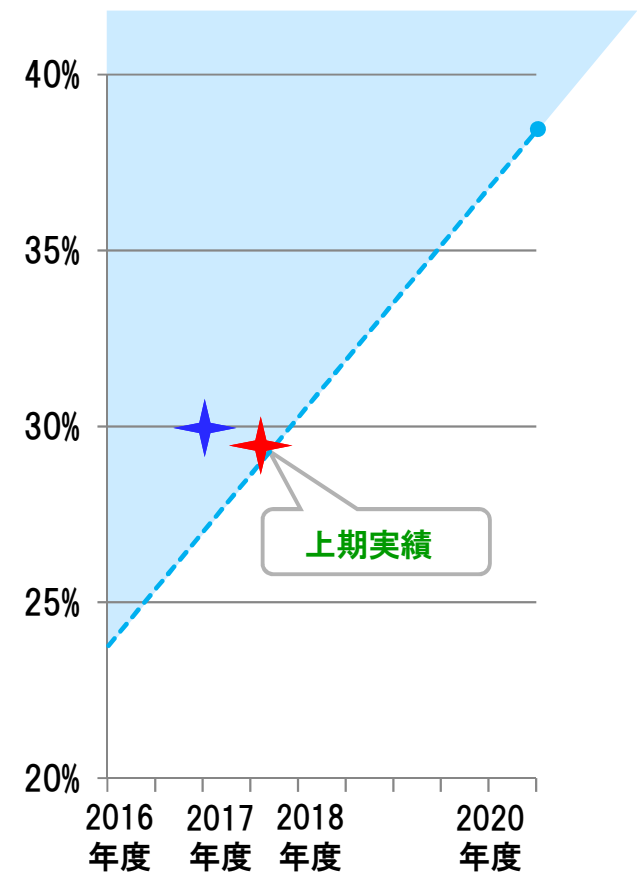
2018年度 上期実績 6.0%



【自己資本比率】

(目標: 2020年度末 37%以上)

2018年度 上期実績 28.7%



■ 産業機器&システム事業
 ■ 縫製機器&システム事業

実績・計画共、1ドル=105円 換算ベース



ビジョン

お客様に選ばれる高品質な
製品・サービスを提供しつづける企業
～世界中のお客様へ「感動と安心」をお届けしよう!!～



基本方針

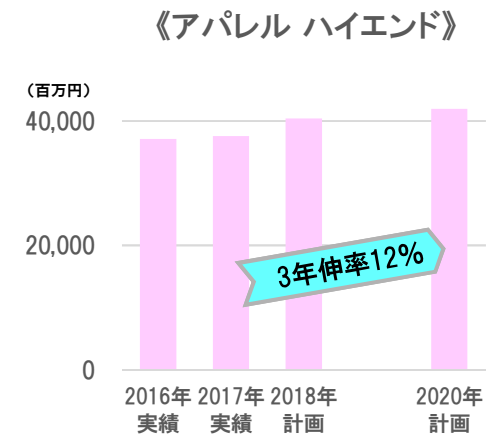
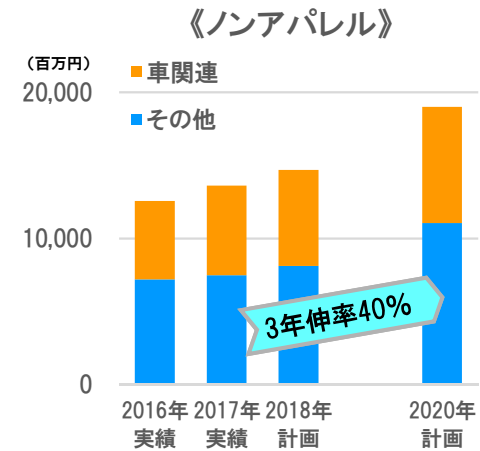
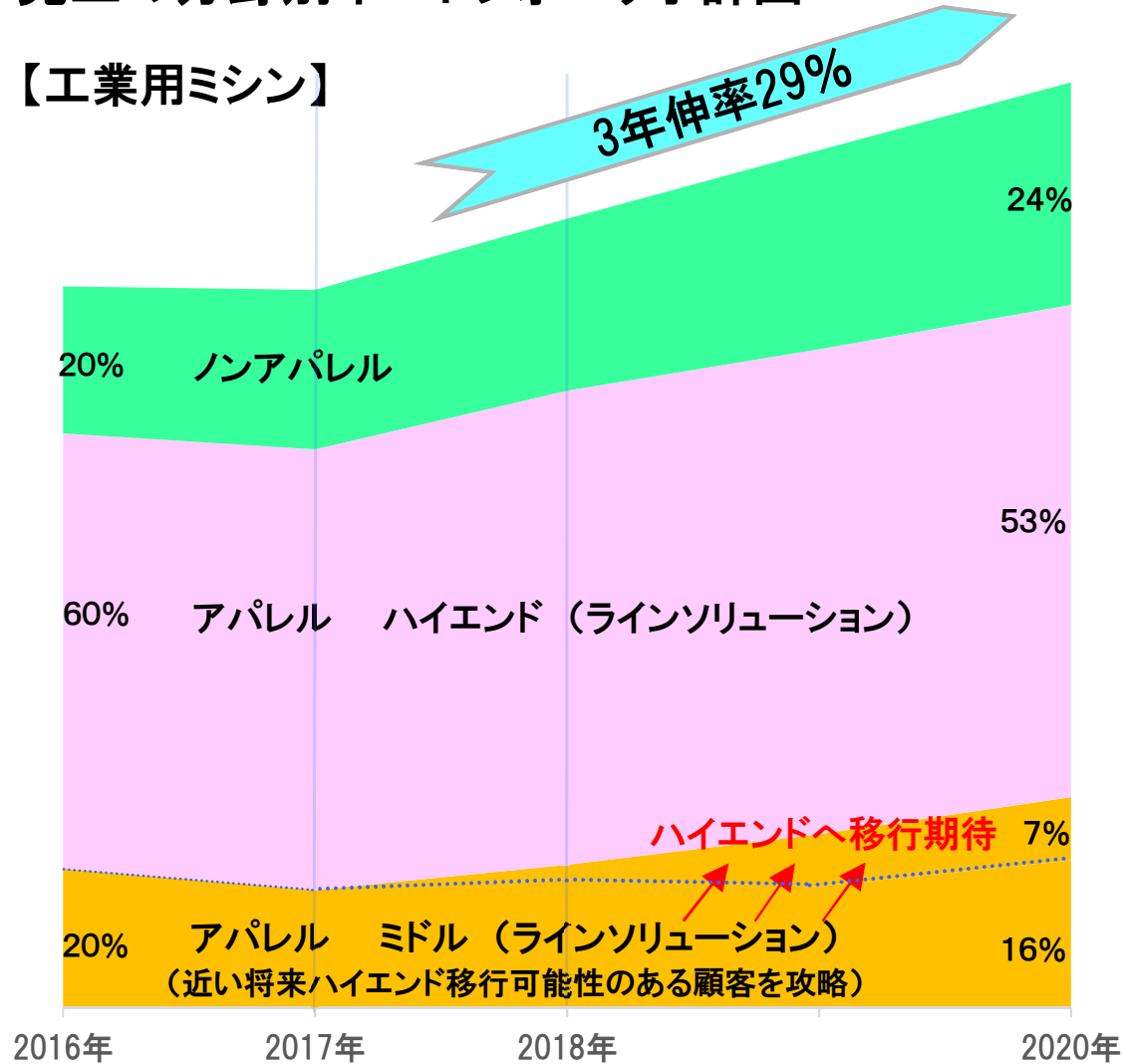
- | | |
|------|--|
| 事業戦略 | ① ソリューション営業での価値創造力の強化
～自動化・システム化の提案力強化、AI等先端技術の取り込み |
| | ② 市場開拓による将来の顧客基盤構築 ←追加 |
| | ③ 将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出と強化 |
| 体制戦略 | ④ ビジョンを実現するグローバルで
イノベーティブ(革新的)な人材の育成と活用 |
| | ⑤ スマートな事業基盤の構築
(プロセスのSmart & Connected化) ←追加
～サプライチェーンマネジメントの改革、働き方改革の推進 |
| | ⑥ 財務体質の強化による自己資本の積み上げ |



事業別に次頁以降記載

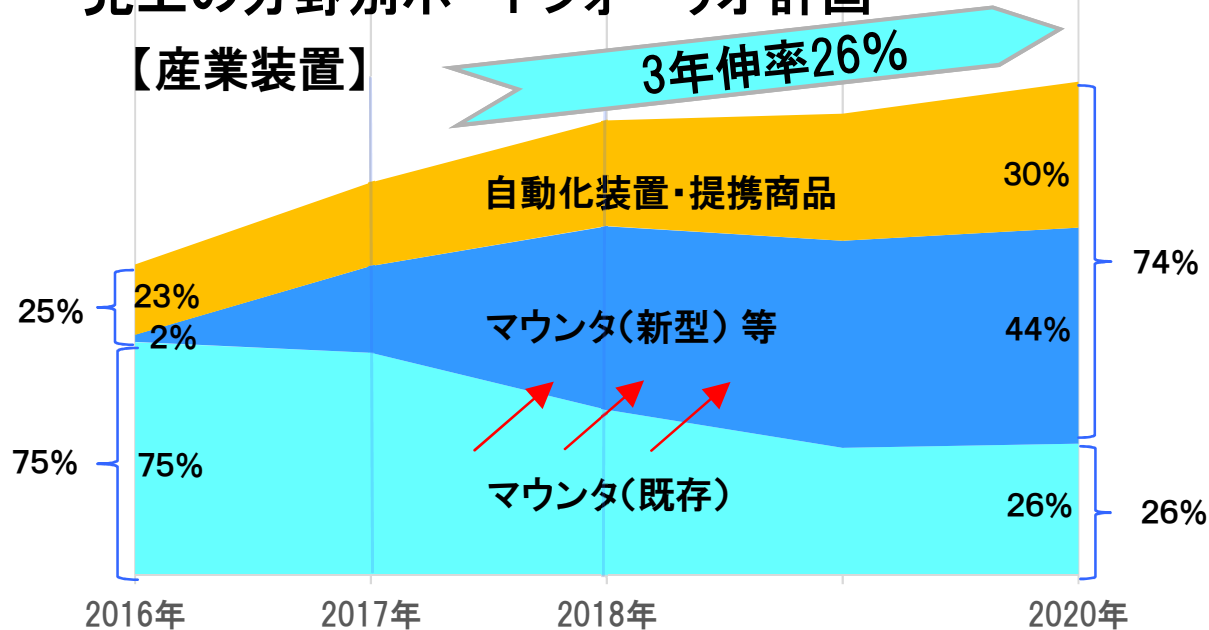
売上の分野別ポートフォリオ計画

【工業用ミシン】



売上の分野別ポートフォリオ計画

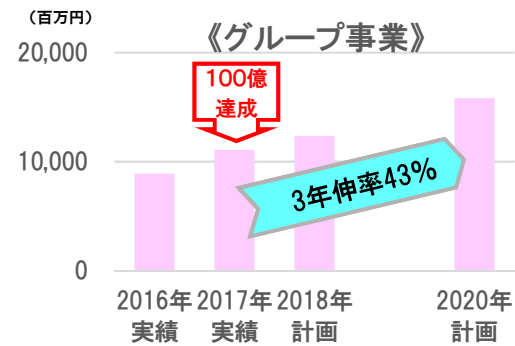
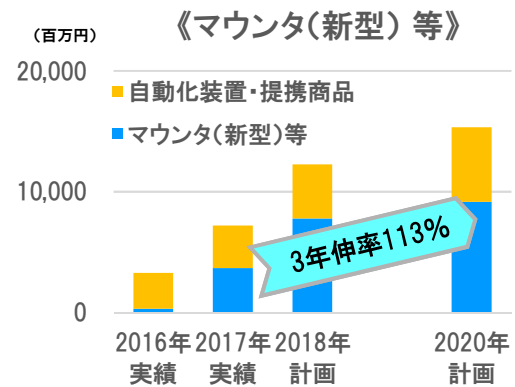
【産業装置】



【グループ事業】



【パーツ事業】



ビジョン

JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案によりお客様のイノベーションに貢献

基本方針

各市場（ミドルマーケット含む）に合った、縫製スマート工場のスタンダード確立と提案強化

重点施策

- ・スマートファクトリービジネスモデルの確立と品揃え拡充
- ・縫製ネットワークシステムのパッケージ展開
- ・アジアビジネスモデル再構築と拠点幹部の育成

2-2-1-2

重点施策 縫製機器&システム事業(工業用マシン)



《ハイエンド向け》
デジタルシリーズを軸とした
ラインソリューション



自動機



《生産性向上・省人化》
ロボット縫製



自動搬送装置(AGV)



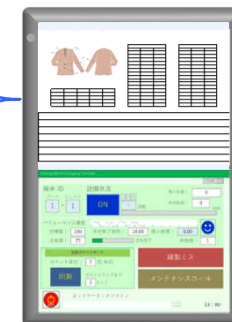
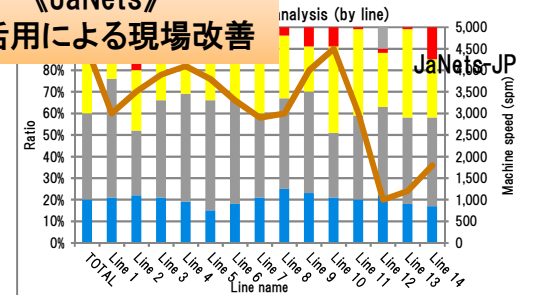
《プリント提案》



《ミドル向け》
シンプルシリーズを軸とした
ラインソリューション



《JaNets》
IoT活用による現場改善



ビジョン

趣味力の高いお客様（Home Sewer）と
新たな楽しみの創造

基本
方針

強みである高級家庭用・小型ロック・職業用・キルト
を中心に堅実な事業を展開

重点
施策

- ・ JUKIの強みを活かした製品展開で、ホビー・クラフト
マーケットを攻略
- ・ 市場規模が大きく、且つハイエンド市場のある主要3市場
(日米欧)に注力し、売上増強と収益改善を図る
- ・ ニーズ探索、情報発信力強化によるユーザーの囲い込み

2-2-2-2

重点施策 縫製機器&システム事業(家庭用ミシン)



市場の特性にマッチしたラインナップ強化

《日本》
ロックミシン

《シュルル》
MO-1000ML



《日本》
高級職業用ミシン



SL-700EX

リアル&デジタル
↓
顧客の創造



&

《アメリカ》
高級家庭用ミシン
キルト用ミシン
刺しゅう機

《欧州》
高級家庭用ミシン

《Kirei》
HZL-NX7



《彩》
QVP
(タジマ工業製)



《みやび》
J-350QVP



ビジョン

得意分野への集中と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ
～2020年に汎用機台数でトップシェアを達成

基本方針

多機能マウンタ及び非マウンタ領域の拡大にて
事業基盤を確固たるものとする

重点施策

- ・顧客層別販売戦略・商品戦略の推進
- ・新製品投入による販売拡大及び粗利率の改善
- ・ソリューション営業による省力化装置・自動倉庫・提携商品の拡販

2-2-3-2

重点施策 産業機器&システム事業(産業装置)

JUKI Smart Solutions

実装統合システムソフトウェア

JaNets
Juki Advanced Network system



生産支援

遠隔サポート

装置間連携

AI予知保全

基幹システム連携

ストレージシステム
ソリューション

高速実装システムソリューション

測定用途ソリューション

ロボット挿入システム
ソリューション

材料・部品管理領域

SMT領域

手挿入領域

測定領域

組立領域

梱包領域

拡大事業領域

既存事業領域

拡大事業領域

ビジョン

JUKIグループの経営資源（製造技術含む）を活かし
JUKI第三の柱へ

基本
方針

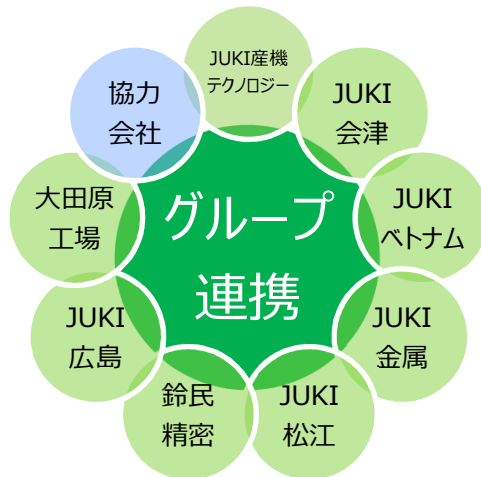
新規顧客開拓と重要顧客の間口拡大で、第三の柱と
するべく売上を拡大
～2020年に売上目標150億円を達成

重点
施策

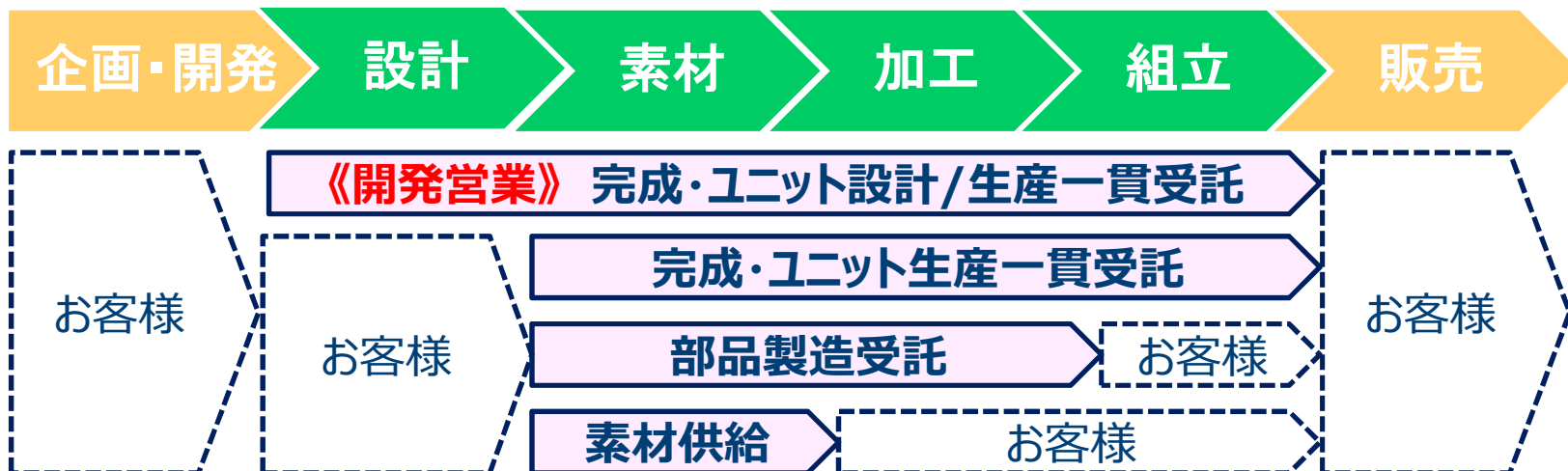
- ・ 開発営業（独自製造技術、独自製品の商品化）による売上拡大
- ・ 重要顧客の間口拡大による売上拡大

JUKI Contract Business Model

生産グループ会社(国内7社、海外1社)と協力会社による
JUKIのものづくり力とネットワークを活用



- ★外部のお客様のニーズに対し
- ★グループ連携で受託範囲を拡大することで
- ★お客様のものづくりプロセスを補完する



ビジョン 今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品

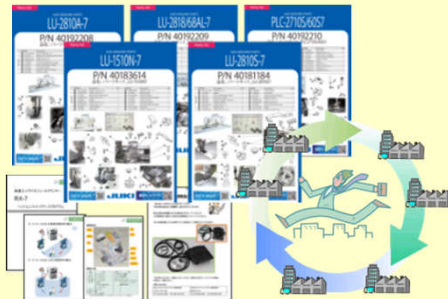
**基本
方針**

縫製、産業装置の垣根を越えたカスタマービジネスの
拡大

**重点
施策**

- (縫製) パーツWebサイトを活用したネットセールスによる顧客の囲い込み
- (産装) 有償メンテナンスによるパーツ需要掘り起こし
- (共通) スマートライン導入におけるアフターサービス事業拡大、パーツ/サービスの相乗的な付加価値創生

パーツ/サービスBIZ拡大



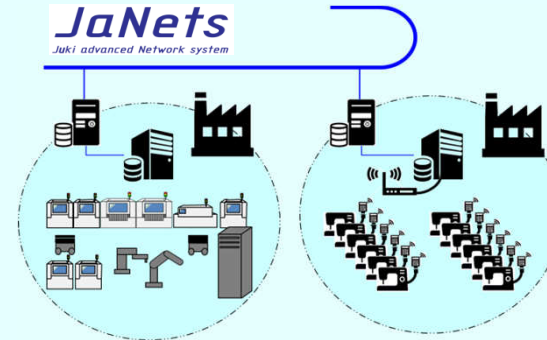
とにかく
お客さんのもとへ

- ・縫製パーツ拡販
- ・産装有償メンテナンスによる
パーツ/サービス拡販

スマートライン導入における アフターサービス事業拡大



技術支援



Smart Solution
への対応

CONNECTED



パーツ供給体制
パーツセンター/販社倉庫



情報共有、発信の為の
ネットワークシステム

活動を支える後方支援

皆さまとともに80年

おかげさまでJUKIは2018年12月15日に創立80周年を迎えます。

当社を支えてくださったお客様、お取引先、株主や
地域社会の皆様をはじめ、全てのステークホルダーの方々の
ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

- 選ばれるソリューションパートナーへ -

80th
Global & Innovative

《リレーションシップ強化》

お客様、お取引先、株主の皆様への感謝を示す

- ・記念ホームページ掲載中
- ・感謝の集い開催（Texprocess展(米国)、実装プロテック展(日本)）等
- ・JUKIソーイングフェスティバル開催予定 等

80周年活動

本業の中でしっかりと
80年企業として
誇れる姿を実現し
お客様に還元して行く

《中期計画達成の推進力強化》

お客様の競争力強化を
実現する製品とサービスを
提供することで計画達成を実現

- ・JUKI歴史ミュージアム設立
- ・JTEC(秋田)実装スマートファクトリーモデルライン設置 等

《意識改革・風土改革》

グローバルでイノベーティブな
人材育成と組織づくりを推進し
100年企業への基礎を構築

- ・80年史 発刊準備中
- ・新グループウェア導入予定 等

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 財務経理部 担当：南

TEL :042-357-2391 FAX :042-357-2392

ホームページURL： <http://www.juki.co.jp/>